

西臼杵医療センターの取組状況について

令和 6 年 1 0 月

西臼杵広域行政事務組合病院事業

(西臼杵医療センター)

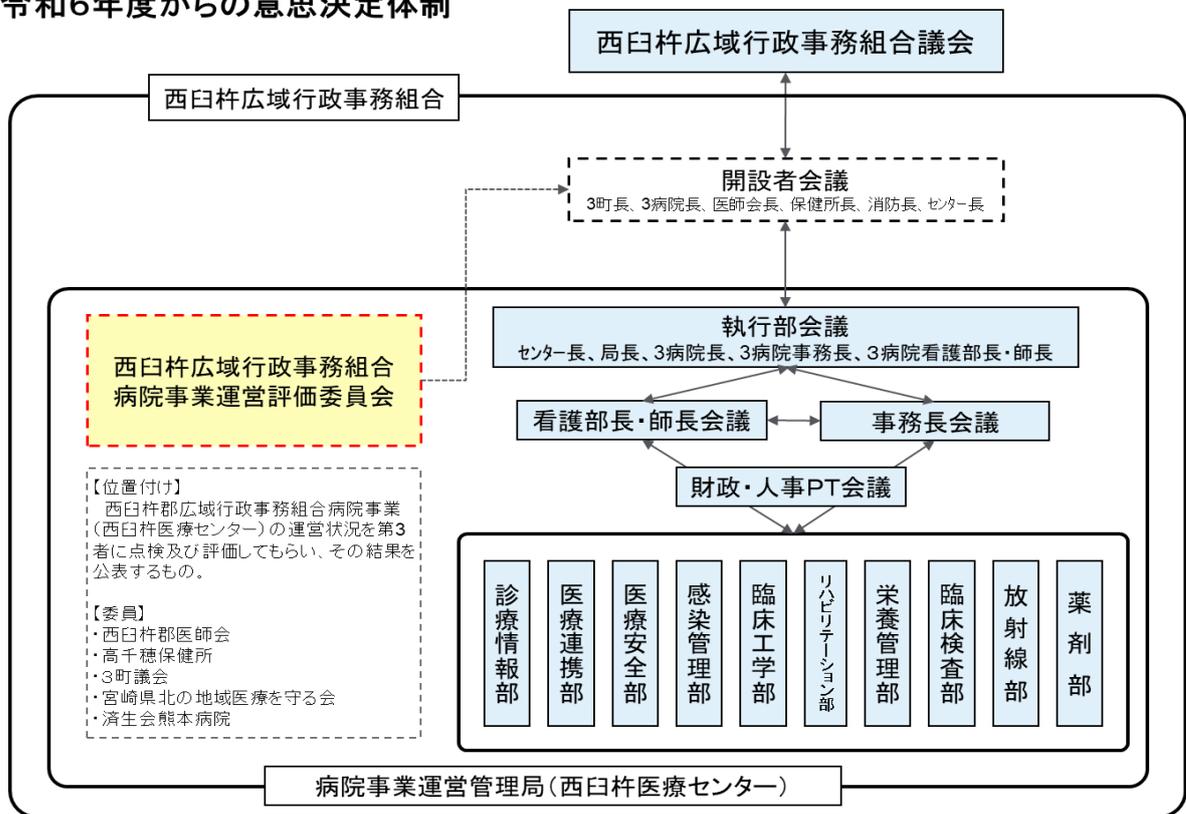
西臼杵医療センターの取組状況について

令和6年度にスタートした西臼杵医療センターは「連携」と「人材確保・育成」を大きな2本の柱として、西臼杵地域医療の進化を目指しています。

1 「連携」の取組状況

(1) 西臼杵医療センターの意思決定プロセス構築のために次の会議体を設置

令和6年度からの意思決定体制



- | | |
|-------------|---------------------|
| ① 部署長会議 | 6月・9月・12月・3月 |
| ② 看護部長・師長会議 | 6月・8月・10月・12月・2月 |
| ③ 事務長会議 | 毎月 |
| ④ 執行部会議 | 4月・6月・8月・10月・12月・2月 |
| ⑤ 運営評価委員会 | 10月・1月 or 2月 |
| ⑥ 開設者会議 | 10月・2月 |

(2) 3町との連携(財政PT、人事PT)

① 財政PT会議

参加者:各町財政担当、運営管理局、3病院、一部事務組合

内 容:各町の負担金について協議する。

② 人事PT会議

参加者:各町人事担当、運営管理局、3病院

内 容:出向職員に関すること、給与・手当の取り扱い等について協議する。

(3) 西臼杵医療センターのホームページをリニューアル



- ① 西臼杵の魅力を発信するため、3町の景色や名産品をスライドで紹介
- ② 新着情報を分かりやすく配置
- ③ 「学生の皆様へ」や「採用情報」ボタン追加などアクセスしやすくするため、デザイン変更。

センター長の部屋など、西臼杵医療センターについても詳しく紹介しています。今後も採用情報などを充実させていく予定としており、随時バージョンアップしていきます。

(4) ロゴマークを作成



(デザイン)

3町公立病院の連携を象徴的に表現するため、デザインの中心は日本の神話や伝統文化に深く根ざした「しめ縄」をモチーフとしている。

神聖な場所を示し連携や結びつきを象徴。それぞれの病院が独自の役割や特徴を持ちながらも、一つに結びついていることを「しめ縄」を通じて表現。



(カラー)

自然を感じさせる色味で構成。癒しと自然を象徴した緑。活力とエネルギーを表したオレンジ。信頼と清潔を表した青。このようなカラーを使い、地域医療が自然と調和し、元気と地域への貢献、信頼性と専門性を強調していきます。

(5) ユニフォーム(ポロシャツ)による一体感の醸成



(運営管理局
の集合写真)



(高千穂町国
保病院の医事
課のみなさん)

このポロシャツは県立延岡病院救命救急センター長である金丸先生が「県北医療への貢献」に対する決意を形にしようとデザインされたものです。

3公立病院職員や管内福祉施設職員など多くの関係者がこのポロシャツを着て、「西臼杵地域医療そして、県北医療への貢献」という同じベクトルに向かって頑張っています。

(7) 宮崎県議会常任委員会の県北調査

厚生常任委員から7名の議員が来られ、多くの意見交換をすることができました。
また、議員から応援の言葉もいただきました。



(8) オンライン診療による地域外病院や福祉施設との連携

- ① 高千穂町国保病院におけるオンライン診療の開始
循環器内科において、済生会熊本病院とオンライン診療を準備中
(11月開始予定)
- ② 五ヶ瀬町国保病院におけるオンライン診療実証実験
宮崎県医療政策課事業を受託し、管内の福祉施設と連携し実験を行い、実用化に向けての課題整理・検証を行う。
現在は県において委託業者の選定中。

2 「人材確保・育成」の取組状況

(1) 関係機関等への挨拶(センター長就任挨拶)及び協力要請

① 行政機関

- ・宮崎県(知事、副知事、病院局長、各部署)
- ・西臼杵3町(町長、副町長、各部署)
- ・西臼杵支庁(支庁長)
- ・高千穂保健所(所長)
- ・高鍋保健所(所長)
- ・宮崎県看護協会(会長)

② 西臼杵3町議会

- ・高千穂町議会全員協議会
- ・日之影町議会全員協議会
- ・五ヶ瀬町議会全員協議会

③ 西臼杵3町住民

- ・高千穂町全地区公民館長会
- ・五ヶ瀬町公民館長・組長全体会議



(高千穂町全地区公民館長会)

④ 大学

- ・宮崎大学(学長、副学長、部長、病院長、教授)
【外科、循環器内科、小児科、泌尿器科、麻酔科、救急救命、地域医療・総合診療、卒後臨床研修】
- ・熊本大学(病院長、教授)
【循環器内科、消化器外科、脳神経内科、小児科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻科、眼科、乳腺科】
- ・九州医療科学大学(学長)
- ・宮崎産業経営大学(経営学部教授)

⑤ 病院

- ・県立延岡病院(院長)
- ・そよう病院(院長)
- ・延岡共立病院(会長、理事長、院長)
- ・縁・在宅クリニック(院長)
- ・済生会熊本病院(院長、室長)
- ・桜十字病院(久米先生)
- ・宇城総合病院(院長)
- ・化血研(馬場理事長)

⑥ 医師会

- ・西臼杵郡医師会長(国見ヶ丘病院院長)
- ・延岡市医師会長(あたご整形外科理事長)

⑦ 医療協力団体

- ・宮崎県北の地域医療を守る会



(2) 県立延岡病院との新たな連携により不足する診療体制の拡充

- ① 高千穂町国保病院（呼吸器科 開始）
 - ・県立延岡病院呼吸器外科医師の月 2 回の派遣
- ② 日之影町国保病院（医師の業務負担軽減）
 - ・県立延岡病院による平日2回の宿直業務開始

(3) 県立延岡病院をハブとした研修医派遣プログラムへの3公立病院参画

- ① 研修医
西臼杵医療センターとして研修医を受入れ、3公立病院で研修してもらう予定です。
(早ければ令和7年度から受入れすることになります。)
- ② 専攻医
救急及び総合診療科の専攻医を西臼杵医療センターとして受入れができるよう計画中です。

(4) 自治医科大学及び宮崎大学医学部地域枠等の医師確保対策検討

- ① 県に西臼杵地域医療の現状を説明し、西臼杵医療センターへの自治医科大学医師の派遣増員要求を行った。
- ② 2022年度から始まった宮崎大学医学部地域枠 40 名(15 名→40 名に増員)の学生(現3年生)が3年後には卒業することから、将来を見据え、宮崎大学医学部と意見交換等を行っている。

(5) 就職説明会参加

聖心ウルスラ学園高等学校の看護師就職説明会に西臼杵医療センターとして初めて参加しました。



西臼杵を存分にアピール！
どこよりも目立つブースが出来ました。

(6) 病院見学受入れ

- ① 宮崎県立看護大学生(1年生、2年生 15名)の院内見学を高千穂町国保病院で受け入れました。(8月)



見学の後は、高千穂峡の散策も行い、西臼杵の魅力をアピール

② 九州医療科学大学薬学部生(4年生、5年生3名)の院内見学を3公立病院で受け入れました。(9月)

西臼杵医療センターの強みを生かし、1日で3つの病院(五ヶ瀬→高千穂→日之影)を見学し、薬局業務や病棟業務などさまざまな薬剤師業務を見学してもらいました。

※もちろん、高千穂峡も散策し西臼杵の魅力をアピールしました。



五ヶ瀬町国保病院
で薬局業務を見学



日之影町国保病院
で病棟業務を見学

(7) 修学資金貸与の充実

昨年度までは高千穂町国保病院のみが一定の期間病院勤務することを条件に返還免除の就学資金貸付事業を「医師及び薬剤師」を対象として実施していました。

今年度からは修学資金貸付事業を「医師・薬剤師・看護師」を対象として実施しています。(看護師を新たに追加)

	医師	薬剤師	看護師
就学資金	月額10万円	月額10万円	月額5万円
入学資金	入学資金の1/2 100万円を限度	入学資金の1/2 100万円を限度	入学資金の1/2 20万円を限度

【令和6年度 修学資金貸与開始者】

計 3名(内訳は以下のとおり)

- ① 医学部1年生 1名
- ② 薬学部1年生 1名
- ③ 看護部1年生 1名

※ 実際の運用を経て改善点が見えてきたため、西臼杵広域行政事務組合議会(10/31)にて修学資金貸与条例改正議案を上程する予定としております。

(8) 看護師 PR 動画の作成

県医療政策課事業を活用し、西臼杵医療センターの看護師PR動画を作成します。3公立病院からそれぞれ1名の看護師が出演します。

PR動画は県のホームページと西臼杵医療センターのホームページにアップされます。また、就職説明会などでも活用していきます。

取材対象者を起用してキービジュアルを制作。
看護師として働くONの様子と、プライベートなOFFの様子を分かりやすく描く。



ONは仕事服、OFFは私服を想定。キービジュアルはONとOFFの映像をつなぐブリッジ的な役割を担います。

取材する看護師で上記のようなビジュアルイメージを制作。働く時のONの様子とOFFの様子を分かりやすく表現します。ビジュアルの中心にスイッチをイメージさせるボタンを置き、スイッチがONの時は働く様子、OFFの時はプライベートな様子を映像の中で表現します。



「へき地医療のこれから」について考えてみませんか？



動画情報

地域の医療を守るため、中山間地域の医療機関で活躍している医師たちがいます。
「へき地医療のこれから」
まなみこーびー-まなみこーびー

令和5年度は美郷町国保病院において「医師版」が作成されました。

(9) 県立延岡病院と看護師相互派遣による能力向上

県中山間・地域政策課の中山間地域医療人材交流研修事業を活用し、県立延岡病院の看護師と高千穂町国保病院の看護師における相互派遣を行います。

期 間 : 令和7年1月中旬～(1ヶ月)

対象者 : 県立延岡病院 1名(1ヶ月) ※救急看護認定看護師
高千穂国保病院 2名(2週間ずつ)

- ・ 派遣者2名については、高次病院の医療現場を経験してもらい、感じたこと、学んだことを西臼杵医療センターにフィードバックしてもらう。
- ・ 受入者1名は県北で唯一の救命救急センターの救急看護認定看護師で、災害医療にも精通しているので、豊富な知見を共有してもらう。
- ・ 西臼杵医療センターと県立延岡病院との縦連携を強化する。

(10) 救急救命士の活用

西臼杵医療センターの救急医療体制を充実させるため、救急救命士を令和6年9月1日付けで1名採用しました。

救急患者の受入、施設間搬送、高次医療機関との連携など、西臼杵の救急医療をさらに進めていきます。

- ・ 救急救命士研修の実施
高次病院の救命救急センターでの患者受入れや処置、施設・設備などの運用について実体験する。

研修先 : 県立延岡病院 救命救急センター

期 間 : 令和6年10月から令和7年3月まで(月2回)